

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひと葉		
○保護者評価実施期間	2026年 5月 1日		～ 2026年 5月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 5月 19日		～ 2026年 5月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の特性に応じた多様な活動の提供</li> </ul> ※児童がルールを理解しやすく、自立的に活動へ参加できるような支援環境の整備を行っている。また、個別支援計画に基づく支援内容について継続的な確認・見直しを行い、児童の自己選択・自己決定の機会確保に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の活動会議で意見を出し合い、目的に応じた具体的なプログラムを立案している。児童の特性に合わせたグループ分けを行い、同じ活動でも個々に合わせて課題設定を変える工夫をしている。また、話し合いを通じて児童の意見を積極的に取り入れ、主体性を尊重した多様な活動を提供している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや活動内容に関する視覚支援をさらに充実させ、児童が理解しやすい環境整備を進める。また、支援計画に沿った活動内容の確認・評価を継続的にを行い、児童の自己選択・自己決定の機会拡充に努める。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINE等を活用した迅速かつ丁寧な家庭連携・情報共有</li> </ul> ※保護者との連絡体制を整備し、全職員が保護者の意向やニーズを共有しながら、統一した対応を行える体制づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動内容について写真付きでLINE報告を行い、家庭内での会話や活動共有につながるよう取り組んでいる。また、保護者からの相談や悩みに対して、LINEや面談等を通じて迅速かつ丁寧な対応に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINEを活用した相談・報告体制を継続するとともに、職員間での情報共有体制の充実を図る。また、保護者から寄せられた意見や要望を分析・共有し、より質の高い家族支援につなげていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容や発達段階に応じた環境設定</li> </ul> ※児童が活動の流れやスケジュールを理解しやすい環境整備に努めている。また、年齢や発達段階に応じた空間活用について継続的な見直しを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「静」と「動」の活動を区分し、児童の年齢や発達段階に応じた環境設定を行っている。また、マグネット等を活用した視覚化や、絵カードの活用により、情報の視覚化を意識した支援を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールやマナーに関する視覚支援をさらに充実させ、児童が理解しやすい環境づくりを継続する。また、支援計画に基づいた適切な活動提供について継続的な検証を行い、児童の自己選択・自己決定の機会拡充につなげていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体系的な家族支援プログラム(学びの場)の提供不足</li> </ul> ※保護者が子どもとの関わり方等を学ぶ機会となる「ペアレント・トレーニング」や専門的な学習機会の提供が十分ではない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINEや面談等による個別相談・助言は実施しているものの、保護者支援を体系的かつ継続的に実施する体制整備が十分ではなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレント・トレーニングや専門研修会を計画的に実施し、保護者同士が情報共有できる機会も含めた学びの場の提供に努める。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流の活性化および日程調整に関する課題</li> </ul> ※地域住民や地域の子どもの交流機会の提供において、参加率向上や活動内容の充実課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流イベントは企画しているものの、地域行事等との日程重複により、地域住民が参加しにくい状況が生じていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事や学校行事の日程把握を行い、重複を避けた計画立案に努める。また、地域住民や関係機関との交流活動を積極的に取り入れ、地域交流機会の充実を図る。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練や各種研修(BCP・感染症・虐待防止等)に関する周知不足</li> </ul> ※非常災害時の対応や各種研修の実施状況について、保護者への情報提供が十分ではなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内では研修や訓練を実施していたものの、年間計画や実施内容について保護者へ継続的に周知する体制整備が十分ではなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に安全計画や各種マニュアル等の周知を行うとともに、訓練や研修実施後にはLINE等を活用して内容を発信し、保護者が安心できる情報提供に努める。</li> </ul>